

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
鹿沼市	北犬飼（北）地区（茂呂、白桑田、深津）	令和3年 3月25日	令和6年 3月31日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	589.2ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	477.5ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	180.8ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	16.8ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	52.5ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	8.5ha
(備考)	

注1：③の「○才以上」には、地域の実情に応じて、5～10年後の農地利用を議論する上で適切な年齢を記載します。

注2：④の面積は、下記の「(参考) 中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の「経営面積」の合計を差し引いた面積を記載します。

注3：アンケート等により、農地中間管理機構の活用や基盤整備の実施、作物生産や鳥獣被害防止対策、災害対策等に関する意向を把握した場合には、備考欄に地区の現状に関するデータとして記載してください。

注4：プランには、話し合いに活用した地図を添付してください。

2 対象地区の課題

- ・担い手の耕作率は、地区全体で約3割弱となっている。
- ・茂呂地区は市街化区域・工業専用地域が多いことや、一部の地域で段差や道路などの条件が悪いことなどから農地の集積・集約化が思うように進んでいない。
- ・白桑田地区は住宅団地を境に、東西に分かれる。東側は宇都宮市に隣接しており、宇都宮市民が保有している農地もあるが、畑地が多く、一部で放棄地となっているところも見受けられる。西側は今後、圃場整備事業が始まる予定だが、地区内に高齢者が多いが、農業者自体は少ない。担い手の数も少ないため、将来の担い手不足が課題である。
- ・深津地区は台風被害で耕作放棄地が多少見受けられるものの、圃場整備されているところはおおむね有効活用されている。規模を大きく営農している担い手もいるが、より一層の集積・集約化が必要である。

注：「課題」欄には、「現状」を基に話し合いを通じて提示された課題を記載してください。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

・茂呂地区は、地域性的問題により、耕作条件上、集積・集約が難しい区域もあるが、可能な限り空き農地などについて、地域の担い手を中心に集積・集約化を図っていく。

・白桑田地区は、特に西側について、基盤整備が予定されているため、併せて担い手への集積・集約化も図っていく。地域で担い手が少ないことから、不足する場合には地区外からの受け入れについても検討していく。

・深津地区は、法人経営体も含め、経営規模の大きい担い手も複数いることから安定した営農が継続できるよう地域の集積・集約化を図っていく。

注1： 中心経営体への農地の集約化に関する将来方針は、対象地区を原則として集落ごとに細分化して作成することを想定していますが、その「集落」の範囲は、地域の実情に応じて柔軟に設定してください。

注2：「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。